

S シリーズ
Series.

夢のシニア海外ボランティア

最終回(第4回) 挑戦編

当協会の国際交流ボランティアで、現在、マレーシアのコタキナバルでシニア海外ボランティアとして活動している河合さんのシリーズも今回で最終回。異国の地で新たな挑戦を続けている様子を紹介します。

シニア海外ボランティア 河合 泉さん



現地のスタッフに日本語を教える河合さん

これからのボランティア生活

いよいよ最後の報告となりました。私は昨年末、今後のボランティア活動計画を作成しました。一番目は、有機農業を訓練科目の大きな柱として定着させ、野菜とコンポストをオープンマーケットで販売すること。二番目は、市内の事業所や企業回りをし、訓練生にできる委託業務を探したり、クリーニング事業の委託事業所を増やしたりするとともに、地元の企業へ実習や就職先として結びつくような宣伝啓発活動を進めること。三番目は、職員研修(ワークショップなど)を3回以上実施し、職員の資質を高めることです。

果たして、どこまでできるか自信はありませんが、一番目は、私が作成した計画に沿って配属先の職員が施設の敷地の隣に新しく畑を広げ始めていますし、三番目についても計画と概要ができ、今後はその内容に肉付けをしながら英訳し練習していくため、何とか見通しがついてきました。



新しい畑作りに挑戦中

さて、コタキナバルに来て8か月が過ぎ、英語しか使えなかった私も、ようやく他の職員とマレー語と英語を混ぜて会話ができるようになり、すっかり打ち解けてきました。それは昨年悩んだ末、意図的にスタッフと交流する機会を作った成果かもしれません。まず、昨年10月から配属先の先生から、マレー語の個人教授を受け始めました。週1回1時間の授業ですが、その準備や復習を繰り返すことで、物覚えの悪い私も、何とかマレー語を使えるようになってきました。次に、これまでJICAからのボランティアがNGOに来ていたことで、現地スタッフの中にも日本語に興味を持っている方が多いと知り、マレー語を習い始めた時期からスタッフを対象に日本語を教え始めました。生徒

2~3人の週1回程度の教室で、それより多い時もあります。日本語以外に英語とマレー語を使って授業をしています。

その他にも、スタッフが昼食時によく集まり、料理を持ち寄って食事をしているので、ときどき日本の料理を作って持っていき、皆さんに食べてもらいました。これまで、味噌汁、ちらし寿司、ひやむぎとおにぎり、ざるそばとお餅、またよく日本風の浅漬けなど漬け物も作りました。最近では、中国の新年のお祭りの期間(2月2週目から)に、妻がコタキナバルの様子を見に来た折りに、頼んで巻きずしを作ってもらいました。日本の料理はあっさりしておいしいと、とても好評で会話が弾んでいます。

最後に、こちらは親日的で物価も日本の3分の1ほどで、熱帯のくだものや魚がとても豊富でおいしいです。私が配属されているボルネオ島サバ州やコタキナバルは、マリンスポーツや世界遺産としても有名な大自然が残っている地域です。私もこれまで、高いつり橋を歩いてスリルを味わうキャノピーウォークをはじめ、川を小さなボートで気持ち良く下るラフティング、近くの島でサンゴと熱帯魚の世界にはまり込むダイビングやシュノーケリングなど、ここならではの自然を体験させてもらいました。

人は夢を持ちいろいろなことに挑戦すると、いつまでも若々しく生きていられるような気がします。秋には、富士山より高いキナバル山へも挑戦する予定です。日本からの直行便も復活していますので、皆さんも是非、サバ州に来て自然の素晴らしさを体験してみてください。



スリル満点キャノピーウォーク

OFFICE GOODS DELIVERY

IKUMO

株式会社 イクモ

〒440-0056 愛知県豊橋市南旭町78番地
TEL.(0532) 56-0766(代) FAX.(0532) 56-0767
<http://www.ikumo-net.co.jp/>

文具通販最大手 ASKUL

新流通最多アイテム Smartoffice

学校、保育園市場No.1の新流通 スマートスクール

新流通三河No.1取扱高の

株式会社 豊橋タイプ

豊橋市松葉町2の5
TEL (0532) 53-5111(代)
FAX (0532) 53-6783
URL <http://www.t-type.co.jp>